

未来 mirai

一人一人が夢をもち
未来を生きる力のある子



琉球大学教育学部附属小学校

学校だより 第5号

発行 令和6年 9月 6日(金)

文責 校長 石川 博久

千原っ子らしさが発揮できる授業・学級を教師と子供が共に創る！

8月22日(木)より第1学期後半がスタートして二週間が過ぎました。登校時に教頭先生と児童玄関であいさつをしながら、子供たちを迎えています。どの子も夏休み前と比べ、体も大きくなり、顔つきもたくましくなっています。気持ちのよいあいさつ、相手のことを大切にしているあいさつ、いつもありがとうございます。日常の授業参観からは、どの学級においても、先生や仲間と集中し意欲的に学習に向き合う子供たちの姿が見られ、大変嬉しく思います。8月26日(月)からは、教育実習も始まり、実習の先生方の授業や休み時間に実習の先生方と楽しく関わる姿も見られます。毎日、子供たちの姿から私を含め先生方は元気をもらっています。

一学期は10月4日(金)が終業の日となります。これから一か月間は、一学期の学習のまとめに取り組みます。わからないことがあったらそのままにしないで、先生や実習の先生方、仲間にも聞いたり、教え合ったりしながら、粘り強く取り組み、わかる喜び、できる楽しさを感じ取ってもらいたいと思います。また、これまでの学級活動の振り返りも行います。学級みんなのために、当番活動(日直・給食・清掃)や係活動を仲間と協力し取り組めたか、役割分担された仕事を最後まで責任をもってやり遂げられたか等を振り返り、人のために活動すること・働くことが大切で、楽しいと感じられるようになってもらいたいです。

保護者の皆様には、お忙しい中ですが、子供たちの学校生活での様子を話題にしながら、家庭学習のお声掛け、励まし、必要に応じては、時間をつくって一緒に取り組む等、ご協力をよろしくお願いいたします。



外部人材を活用した授業実践で学ぶ意欲を高める！

8/27(火)に実施した2年生の生活科「生き物と友達」の単元でカブトムシを取り扱った学習です。カブトムシ飼育の専門家である外部人材の先生方から、カブトムシになるまでのお話を聞きながら、子供たちは自分の容器に、土を入れ、その後、専門家の先生からいただいたカブトムシの幼虫を土の中に入れていました。初めて触る幼虫に目をまるくし作業をしていました。幼虫は、来年の6月にさなぎになり、成虫になるそうです。2年生のみなさん、あと10か月、定期的に観察し、気付いたことをまとめ、カブトムシ博士をめざしてください。外部人材の効果的な活用は他学年でも進めています。

学校での学びを家庭での学びにつなぐ！子供は子供から学ぶ！

8/27(火)の夏休み作品展の様子です。全学年の子供たちが夏休みに取り組んだ自由研究や図画工作、習字などが展示され、一生懸命に取り組んだことが作品から伝わってきました。体育館で行う全学年合同の作品展のよさは、子供たちが互いの作品のよさに触れることができることだと思います。会場では、高学年の先輩の作品を見て、中学年の子が「来年は6年生のような自由研究に取り組んでみたい」「こんなふうに習字がうまくなりたいなあ」「こんな工作を作りたい」などの声があがっていました。高学年からは低学年の作品を見て「すごいなあ。自分たちの時よりも上手だなあ」と。学校での学びを家庭での学びにもつなげた作品づくりは、子供たちの自信につながっています。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



よりよい授業実践をめざして！先生方も頑張っています！

8/14(水)に開催した千原初等教育研究発表会の音楽科の様子です。全教科等で行い、大学の教授(共同研究者)をはじめ、附属小職員OBを含め、230人の先生方の参加がありました。現職の先生方が4月~7月までに取り組んできた研究実践を、中間発表の場として公立の先生方へ発信しました。ご参加の先生方から、よりよい教師の働きかけや子供たちの育ちについてのご意見をいただき、語り合うことができました。先生方は、ここで自身の実践を振り返り確認できたことを、夏休み明けからの実践につなげられるように取り組んでいます。

★「①教育研究、②研究実践を公立へ発信、③教師をめざす教育実習生への指導・支援」は、本校の使命です。先生方は日々の実践と子供たちの育ちを大切にしています。ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。